



GENIEE

2019年3月期（第9期）株主通信

GENIEE LETTER

Contents

特集 工藤社長に聞く！
当期の業績とこれからのジーニー
第9回定時株主総会決議ご通知
会社情報／株式情報



テクノロジーで 新しい価値を創造し クライアントの 成功を共に創る

工藤社長に聞く！

当期の業績とこれからのジーニー

当期の業績と注目のトピックス・今後の計画などについて、
工藤智昭代表取締役社長に伺いました。

Q 当期（2019年3月期）を振り返っていかがですか。

A 売上高は、149億54百万円と前期比増収で着地
M&A等投資を継続しつつ、EBITDA黒字維持

当期は事業環境の変化が大きくとても厳しい状況でしたが、強みである「技術開発力」と「事業推進力」を活かし、引き続き事業領域の拡大やサービス提供地域の拡大に取り組んでまいりました。

アド・プラットフォーム事業では、主力の広告収益最大化プラットフォーム「GenieeSSP」を軸に、新規顧客の獲得や既存顧客のサポート等に取り組んだ一方、成長事業であるマーケティングオートメーション事業と海外事業においては、それぞ

れ投資を行い、事業領域の拡大と新たな地域への進出を果たし、規模拡大を推進いたしました。

この結果、当期の業績は、前期比4.0%増の売上高149億54百万円となりました。利益面は厳しい局面の中、M&A等の成長投資を継続しつつ、経営指標として重要視しているEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）について、19百万円と黒字を維持いたしました。



※既存事業のシェア拡大と健全な範囲での投資を継続する経営方針の下、売上高・売上総利益・EBITDAを重要指標として経営を推進しています。

Q あらためて、ジーニーの事業内容を教えてください。

A アドテクノロジー領域からマーケティングテクノロジー領域にかけて事業を推進

アド・プラットフォーム事業



マーケティングオートメーション事業



海外事業



当社はテクノロジーで新しい価値を創造し、クライアントの成功を共に創るというミッションを掲げ、事業を行っています。

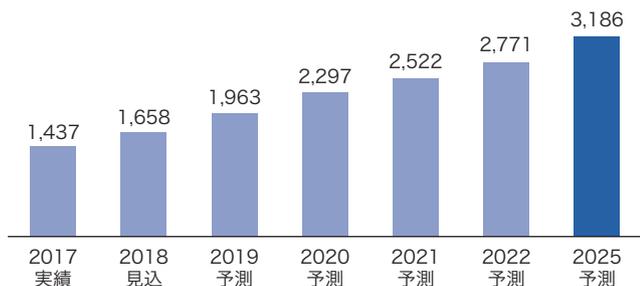
アド・プラットフォーム事業では、主力の「GenieeSSP」と「GenieeDSP」に加え、次期（2020年3月期）から、DOOH領域の事業化に取り組んでまいります。

マーケティングオートメーション事業では、2016年から提供を開始した「MAJIN」に、昨年事業承継した「ちきゅう」と、株式取得をした「チャモ」が新たに加わりました。集客/広告運用を担うトレーディングデスク事業も、次期より独立した事業部として、事業を推進いたします。また、創業3年目の2012年より、東南アジアを中心に海外でも事業を展開しています。

Q 注目のトピックスを教えてください。

A 急成長のデジタルOOH領域に積極展開
2025年には3,000億円の市場規模へ

デジタルサイネージ国内市場規模推移予測（単位：億円）



（出所：富士キメラ総研推定）

※OOH：Out Of Home の略で、交通広告や屋外広告など自宅以外の場所で接触する広告メディアの総称。



本年2月に本格運用を開始したタクシー配車サービス向け広告配信プラットフォームを足掛かりにDOOH、屋外におけるデジタル広告領域での事業化を推進いたします。タクシー配車サービス向け広告配信プラットフォームはおかげ様で満稿が続いている状態ですが、そこにとどまらず、急成長市場への積極展開を図ってまいります。DOOHの市場は、2025年に3千億円まで規模が拡大する見込みで、当社としては、DOOH領域でのトップシェアを中長期的に目指していく所存です。まず、次期は、2021年3月期以降の本格拡大の足掛かりとして、複数のDOOHメディアとの連携を推進いたします。

Q 今後の成長戦略を聞かせてください。

A 中期経営計画を策定 2022年3月期までに売上高250億円を目指す

2020年に当社は設立10周年を迎えます。次の成長ステージへ向かうべく、この度2022年3月までの3か年の中期経営計画を新たに策定しました。

当面、事業規模の拡大を最優先し、2022年3月期までに売上高250億円、売上総利益60億円、EBITDA30億円を目指します。詳細は、当社IRサイトをご覧ください。

詳細はこちらから

▶QRコードで簡単アクセス

※QRコードの読み取りには、専用のアプリが必要です。



▶ブラウザから検索

ジーニー IR

検索

▶URLを直接入力

<https://geniee.co.jp/ir/>

Q 最後に株主様へのメッセージをお願いします。

A 次期は営業利益の黒字転換を見込む

当期は皆様にご心配をおかけする決算となりましたが、新たに策定した中期経営計画の下、次期は皆様のご期待に添えられるよう、経営を推進してまいります。既存事業のシェア拡大と健全な範囲での投資を継続して推進し、まず、次期は営業利益

についても、黒字転換を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第9回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されました

■開催日時 2019年6月27日(木) 午前10時

■開催場所 東京都新宿区西新宿二丁目2番1号 京王プラザホテル 44階「ハーモニー」

■内 容

報告事項 1. 第9期(2018年4月1日から2019年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

2. 第9期(2018年4月1日から2019年3月31日まで) 計算書類報告の件

決議事項 議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)5名選任の件

会社情報

(2019年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社ジーニー
本社所在地	東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー6階
設立	2010年4月14日
資本金	1,539百万円
従業員数	258名(単体163名、海外95名)
グループ会社	
シンガポール	Geniee International Pte., Ltd.
ベトナム	Geniee Vietnam Co., Ltd.
インドネシア	PT. Geniee Technology Indonesia
インドネシア	PT. Adstars Media Pariwara
タイ	Geniee Adtechnology (Thailand) Co., Ltd.
インド	Adskom India Private Limited
日本	株式会社チャモ

役員

代表取締役社長	工藤 智昭	クドウ トモアキ
取締役	廣瀬 寛	ヒロセ ヒロシ
社外取締役	仁木 勝雅	ニキ カツマサ
社外取締役	藤平 大輔	フジヒラ ダイスケ
社外取締役	那珂 通雅	ナカ ミチマサ
社外取締役 常勤監査等委員	鳥谷 克幸	トリタニ カツユキ
社外取締役 監査等委員	轟 幸夫	トドロキ ユキオ
社外取締役 監査等委員	後藤 文明	ゴトウ フミアキ

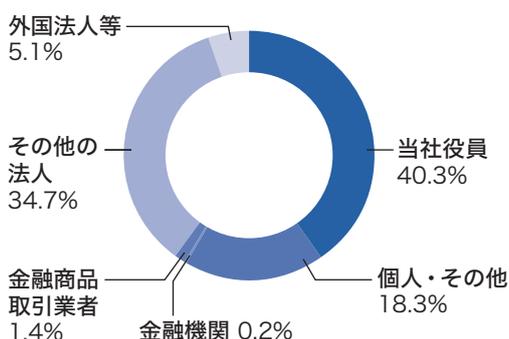
株式情報

(2019年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式総数	17,868,200株
株主数	3,614名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
工藤 智昭	6,540,300	36.60
ソフトバンク株式会社	5,625,000	31.48
吉村 卓也	662,500	3.70
廣瀬 寛	655,900	3.67
トランス・コスモス株式会社	495,000	2.77
NICE SATISFY LIMITED	402,000	2.24
AT- I 投資事業有限責任組合	378,200	2.11
Fenox Venture Company IX, L.P.	258,000	1.44
アンカー・アドバイザーズTMT3号投資事業有限責任組合	204,900	1.14
PT Metra Digital Investama	93,000	0.52